

# 校報まつかけ

第 4 号  
令和 7 年 6 月 30 日  
八幡浜市立松蔭小学校  
<https://matsukage-e.esnet.ed.jp>

あかるく・やさしく・たくましく

- ・ まんかいたの笑顔で
- ・ つながる仲間と
- ・ かんがえよう一生懸命
- ・ げんかいに挑戦しよう

## アンパンマンの正義

校長 川田 久

4月からの楽しみは、録画している朝ドラ「あんぱん」を週末に一気に見ることです。ご存知の方も多いと思いますが、このドラマは「アンパンマン」の生みの親である漫画家のやなせたかしさんと、その妻の暢（のぶ）さんをモデルにした物語です。週ごとのタイトルも「なんのために生まれて」「なにをして生きるのか」とか「人生は喜ばせごっこ」「絶望の隣は希望」など、アンパンマンを連想させるようなもので、わくわくしつつも感動的な内容に、毎週夫婦で涙しています。生前のやなせたかしさんは、独特の雰囲気を持ったユニークなおじいさん、といった印象でしたが、孤独な幼少時代や過酷な戦争体験をされていたということを知り、アンパンマンというヒーロー像に込められた、やなせさんの深い思いを感じることができました。ドラマもちょうど戦争に突入り、親しみを感じながら見ていた登場人物が少しずついなくなるなど、暗く不安な時代になっています。ドラマのテーマは「逆転しない正義」だそうです。戦前と戦後で180度変わってしまった価値観や社会制度の中、絶対だと信じていた正義が正義ではなくなっていく。ドラマの後半では、戦後の漫画家としての生き方などを通して、そのテーマについて描かれていくのではないかと思います。

このわずかな数年の間に、世界は危険な方向にどんどん進んでいるように感じます。戦後、多くの人々の努力によって積み上げられてきた平和のための取組や秩序が、音を立てて崩れているように思えてなりません。それぞれの正義を信じ、互いの正義をぶつけ合わせた結果、大きな分断や憎悪が生まれたことを、世界のニュースやSNSを巡る状況で目の当たりにしています。極限状態の中で必死に生き延びている人たちがいて、今この瞬間にも多くの命が失われています。パレスチナのカザ地区に、もし今アンパンマンが現れてくれたら、子供たちは空腹を満たし、夢や希望を持って憎しみの連鎖を断ち切ることができるはずなのですが...

自分の信じている正義だけが正しいものなのかを常に意識し、相手の側の正義についても想像し、歩み寄ることが本当の正義につながるのかもしれませんが。これは理想論で、ある意味きれいな事なのでしょうが、学校が夢や理想論を語らなくなるとは教育の意味はありません。昭和がずっと続いていたら今年も昭和100年に当たります。また、戦後80年という節目の年でもあります。我が国の今を新たな戦前にしないためにも、逆転しない正義、揺るぎない正義とは何かを、子供だけでなく大人も真剣に考え、行動しなければならない時代になっているのではないかと思います。



### <8月の主な行事予定>

- 8/ 1(金) プール開放日③10:00~11:30
- 8/ 7(木) てやてや練習17:00~ ※時間等については今のところの予定です
- 8/ 8(金) 全校登校日・てやてや練習17:00~
- 8/12(火) てやてやウェブ18:30~(みなと緑地公園・駐車場)
- 8/13(水)~8/15(金) 学校閉庁日
- 8/17(日) 市P連ソフトバレーボール大会

## 7月の行事予定



日	曜	学 校 行 事	給 食
1	火	登校指導 あいうえお話会8:00~ 委員会活動(6校時)	○
2	水	県教委・市教委訪問9:00~12:00 代表委員会 職員会議	○
3	木	ICT支援員さん来校	○
4	金	PTA本部役員会19:00~	○
5	土	PTA役員合同研修会13:30~(コミカン)	/
6	日	市民スポーツフェスタ	/
7	月	家庭学習強調週間~11日 児童生徒を守り育てる日	○
8	火	社会を明るくする運動(5年 3・4校時) クラブ活動(6校時)	○
9	水		○
10	木	個人懇談1日目 てやてや練習	○
11	金	個人懇談2日目 てやてや練習	○
12	土		/
13	日		/
14	月	ALT訪問 ICT支援員さん来校	○
15	火		○
16	水		○
17	木	分区分 給食最終日	○
18	金	登校指導 第1学期終業式 集団下校10:50~	/
19	土		/
20	日		/
21	月	海の日	/
22	火	夏季休業~8/31迄	/
23	水	市小学校水泳記録会(宮内小) 8:15~	/
24	木	市小学校水泳記録会予備日	/
25	金	プール開放日①10:00~11:30	/
26	土		/
27	日	PTAサマーキャンプ	/
28	月	プール開放日②10:00~11:30	/
29	火	サマースクール①(公民館)	/
30	水	サマースクール②(公民館)	/
31	木	サマースクール③(公民館)	/



# ★ 様々な行事があった6月でした ★



## 5年生宿泊体験活動



6月4日(水)～5日(木)の日程で、5年生が大洲青少年交流の家で宿泊体験活動を行い、日常の生活では味わえない貴重な学びを数多く経験することができました。様々な体験を通して、自分の身の回りのことを自分で行う経験は、子供たちに責任感や達成感をもたらしたことと思います。また、寝食を共にしたことは、友達の意外な一面を知ることにもつながり、絆をより深めることにつながったのではないかと思います。

体験することや助け合いの中で、子供たちは人との関わり方や思いやりの大切さを体で学ぶことができました。「生きる力」を育む貴重な時間になったことでしょう。



## 三世代運動会

6月7日(土)、松蔭公民館主催の三世代交流運動会が行われました。たくさんの児童が参加し、保護者、地域の方々と交流しながら様々な種目の競技を行いました。素敵なアイデアがたくさん盛り込まれたプログラムによって、三世代が一緒に身体を動かし、笑い合い、世代を超えた交流が自然に生まれていました。

子供たちは、地域の方と協力しながら競技に参加することで、互いの存在をより近くに感じられたのではないかと思います。家庭の枠を超えて多くの人と関わることができ、助け合いの心や地域とのつながりを深めることにもつながりました。また、たくさんのお土産もいただき、満足そうな子供たちの笑顔が印象的でした。公民館や地域の方々の優しさに触れることのできた一日になりました。ありがとうございました。



## 参観授業・奉仕活動・AED講習会・引渡し訓練



6月14日(土)、授業参観・奉仕活動・AED講習会・引渡し訓練を行いました。参観授業では、4月に進学・進級して約2か月。それぞれの学年で成長した子供たちの姿を見ることができたのではないのでしょうか。

参観授業に続いて、奉仕活動とAED講習会を同時進行で行いました。残念ながら当日は雨となり、予定していた校庭の草引き等はできませんでしたが、校舎内の清掃や整備をしていただき、玄関や教室・廊下が見違えるようにきれいになりました。また、プール監視をしていただく保護者の方を対象にしたAED講習会では、万が一の事態に備えた知識や技術を親子で学びました。さらに、奉仕活動・AED講習後は、実際に子供たちが地震災害を想定した訓練を行う様子を見ていただくとともに、一連の流れの中で保護者の方々に引渡し訓練に参加していただきました。命を守るための大切さを実感し、防災意識を高めることにもつながったのではないかと感じます。



## 受賞おめでとう!

○ 第50回二宮忠八翁記念飛行大会

飛行賞 (ゴム動カプロペラ機ペアの部) 松浦 零(3年)



(地域での子どもたちの様子や学校への御要望、本紙を読んだの御感想・御意見等)

御芳名 ( )

匿名でもかまいません。

## 災害に備える

先日、ある予言を取り上げたSNSや動画が拡散し、観光ビジネスに大きな影響を及ぼしているというニュースやそれを取り上げたテレビ番組が放送されました。ある予言というのが、「2025年7月に日本で大災害が起こる」というもので、影響を受けた海外からの航空便や宿泊の予約が減少しているというものでした。気象庁は明確に「科学的根拠のないデマ」であると否定していますし、予言を著書に示した本人も「不安をおおる意図はない」と述べており、あくまで防災意識を高めるきっかけになればという思いを語っています。ただ、この一連の騒動は、私たちにとっても大切なことを示唆しているように思えてなりません。

まず、日本は地震や台風、津波などの自然災害が数多く発生する国であり、常に備える意識を忘れてはならないということです。災害は、ある日突然やってきて、私たちの暮らしを一変させる可能性を秘めています。先日、参観授業と奉仕活動・AED講習会の後に引渡し訓練を行いました。また、訓練前には、子供たちが想定した地震の揺れから身を守る姿を、保護者の皆さんに実際に見ていただきました。このような訓練に参加することは、机上の知識だけでは得られない「実際に動く力」も育みます。訓練後に、家族で避難時の集合場所や連絡手段について話し合うきっかけにもなったのではないかと思います。私たち一人一人が、日頃から災害に備えて防災意識を高めておくことは、やはりとても大切だといえます。

もう一つは、スマホやタブレットで動画を見る機会が増え、日常の一部になりはじめているということです。特に、一度見た動画のジャンルや内容を元に、似たような動画ばかりが表示されるようになる「フィルターバブル」と呼ばれる現象は、自分の興味に合う情報だけが届く反面、違う意見や広い視野の情報に触れる機会を減らしてしまいます。気が付けば、自分の価値観だけが強化され、他の考え方を受け入れにくくなってしまいう可能性を秘めています。予言が独り歩きして騒動になってしまったのは、このような偏った情報環境によるものだとも考えられます。情報を正しく取捨選択したり、ものごとを多角的に捉える力は、これからとても大切になってくるといえます。

災害はいつやってくるか分かりません。自然の力を完全に防ぐこともできません。「もしも」に備える意識と、正しい情報の取捨選択が大切です。また、情報等が遮断される恐れのある災害時には、地域のつながりが何よりの力となります。顔なじみの方々との日頃からの声掛けや助け合いの関係性は、有事の際に大きな支えとなります。学校における避難訓練や情報教育、また地域を知り、地域に親しむ活動などを通して、子供たちに「自分の身を守る」力を身に付けさせたいと思っています。

(文責 松上 礼記)



厳かな雰囲気のカンドルサービス

クライミングウォールにも挑戦

晴天の下、カヌーを満喫

おいしいカレーの完成です



2年前まで行っておりました夏休みのプール開放・監視については、PTA役員総会・本部役員会でも再度検討した結果、主に熱中症等の危険性を考慮し、実施いたしませんので、ご了承のほどよろしく願いいたします。

それに伴い、各分団がこのプール監視当番の日程や役割を決めておりました「地区懇談会」は、今年度も紙面開催にいたしますので、ご了承ください。

**お知らせ**